

～実りの秋～ 子供たちが培ったもの

校長 前田真喜子

11月半ばにもかかわらず、日中はまだ暑い日が続いています。メディアの急速なコロナ感染拡大と警告、日々変わる状況に一喜一憂しながらも、本校でも冬に向け一段と気を引き締めて感染予防に努めているところです。

先日の駅伝大会では、保護者の方々のご協力に加え多数の地域の方々のお支えもいただき感謝申し上げます。2学期の行事も子供たちが主体となる行事はほぼ終え、海陽中学校生活も残り4か月強となりました。今年1年本校では、海陽中学校の生徒として、身につけさせたいこと（目指す生徒像）の実践に特に拘ってきました。また言われる「生きる力」(＝島立ちする子供たちに必要な力)を常に意識して教育活動に取り組んでいます。

子供たちはこの2学期、運動会に始まり文化祭、駅伝大会と大きな行事を終えることができました。結果としての各ステージは大成功でした。ただ、結果だけでなく、そこに至るまでの過程において子供たちが多くのことを学んでくれたことも、我々教師は感慨深いものがあります。これは中学校ならではの、子供たちの自立、ひとり立ち、生きる力を学ぶ場でもあります。実践練習の場は、一人一人異なりますし、個性があるように課題も異なり結論も当然各々異なりますが、目指すゴールは皆一緒です。特に小規模校ならではの“全員野球”故に求められることも多いです。得手・不得手関係なく全員で取り組み、それ故の悩みや困難さ等もあり、当然中学生ならではの葛藤も抱えながらも、子供たちは自己理解、他者理解等乗り越えての晴れ舞台で勇姿を披露しました。まさに、子供一人一人が「生きるための力」の学びを経て成長した証と思います。

2学期も残すところ終業式のみとなり、本年度子供たちが主体となる行事も僅かとなりました。生徒会も2年生に完全に移行し、今一度初心に戻って学校生活の基本を確認し主体的に活動しようとして取り組んでいます。3月海陽中学校を巣立つ子供たちが、自信を持って先に進めるよう、1日1日を大切に頑張りたいと思いますので、保護者のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第39回 文化祭

10月31日(土)、「Next Stage～勇気といっしょに輝く島で～」のスローガンのもと、本校第39回文化祭を開催しました。展示部門では、これまでに学習をしてきた成果の発表の場として、夏休みの自由研究作品や、美術科、家庭科における制作作品、生徒会による読書標語などの作品が数多く出品されました。また、ステージ部門では、英語スピーチや俳句・短歌の発表、ダンスや劇、全員による合唱・合奏などの発表を行いました。練習時間が短く一人一人の担った役割も大きかったと思いますが、当日は、どの発表も素晴らしく、一人一人がいきいきと輝いていました。文化祭に来校された方の中には、演技をしている生徒の姿を見て感動されて涙を流す方もいらっしゃいました。

仲間と意思を一つにしながらかつ協力しあいで作り上げた文化祭は、感動と達成感、そして大きな自信を生徒に与えたように思います。



港ヤンハ踊り (男子)



6 Dance (女子)



ソーラン節 (男子)



2年英語スピーチ



1年生 朗読



国語科 (俳句・俳句)



2年生 劇



3年生 劇



全体合奏



全体合唱

キャリア教育実施事業講演会

11月10日(火)、薩摩川内市主催のキャリア教育実施事業において、樋脇精工株式会社、代表取締役社長の松下順紀様を講師に迎え、「夢を叶えるために学んでほしいこと」を演題として、講演会を実施しました。講演会では、会社の概要の説明から始まり、現在挑戦しているロボット製作について詳しく説明してくださいました。この講話の中で、松下様は、「信念を強く持ち、こたえを待たず、失敗しても、前向きに考え、改善のために行動することが大切。ピンチはチャンス!」ということをお話してくださいました。生徒は、「自分が苦手なことも、頑張ると続ければ、時間が解決してくれるということだったので、いろいろなことに前向きにチャレンジして頑張りたいです。」と、「あの小さなロボットたちは、何ミクロンも小さな部品の集まりであり、細やかな作業の努力や苦勞の積み重ねの結果であることと、動く姿に感動していました。」といった感想を述べていました。後日、今回の講演会の記念に、3Dプリンターで作成されたネームプレートをいただきました。全生徒に配付しておりますので、ご家庭でご覧いただければと思います。



曾於高校とのオンライン交流授業

11月11日(水)、3年生で薬物乱用防止教室の一環として、「お酒とのつきあい方」についての授業を行いました。今回は、未成年の飲酒防止教育に取り組んでいる曾於高校生徒会の保健委員の皆さんとオンライン交流授業を実施しました。

高校生からは、飲酒のメリットやデメリットなどについて説明してもらい、逆に3年生からは、現在、卒業記念に向けて取り組んでいる焼酎づくりにかける思いを語ったりしました。3年生は、自分たちの課題に対して取組を考え活動に移している高校生の自主的な様子に刺激を受けた様子でした。

生徒は「お酒を飲みたいと思っている人は多かったし、悪いことばかりではないことを知ったので、よかったです。将来自分が飲むときは、量などに気をつけて、人とコミュニケーションをとれるようにしたいです。また、自分たちがどういう気持ちで焼酎を作っているのか、知ってもらえてよかったです。」といった感想を述べていました。



第11回駅伝大会

11月14日(土)に、第11回駅伝大会を開催しました。手打コミセン前から出発して、3チームが6区間(1区・3区・4区2km、2区・5区1km、6区3km)を走りました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮して、タスキのつなぎ方などを工夫して、健脚を競いました。



当日は、天候にも恵まれ、日頃から体育の授業や朝練、自主練習などで鍛えてきた成果を見事に発揮し、全チームが目標のタイムを上回ることができました。達成感を味わった生徒がたくさんいたようです。

沿道からは応援に参加した小学生や保護者だけでなく、地域の皆さんからも「頑張れ!」といった温かい声援や激励もあり、最後まであきらめない意志の強さや、力強い走りを見せてくれました。

保護者の方々や地域の皆様には、ご多用にもかかわらず、大会運営へのご協力や沿道でのご声援等をいただき、本当にありがとうございました。

主な大会結果は以下の通りでした。(敬称略)

チーム優勝 「The ドラゴンフルーツ」

【毛井宏祐・川畑慎之介・三宅里桜・植村騎琉・四角さやか・中潟美羽】
区間賞

1区 中野瑚二郎 (9分02秒)	2区 中潟 美羽 (5分11秒)
3区 中村 敏誌 (9分48秒)	4区 四角龍之介 (9分46秒)
5区 中野瑚二郎 (4分9秒)	6区 川畑慎之介 (13分27秒)

手作り雑巾贈呈式

11月10日(火)、公益社団法人川薩法人会様より、小中交流活動のクリーン作戦や、朝の清掃活動等の取組の功績が認められ、手作り雑巾を70枚贈呈されました。普段の清掃作業や朝の清掃活動等で活用していきたいと考えています。ありがとうございました。



12月行事

- 2 (水) 食に関する指導 (3年) 中期交流学习
- 8 (火) 1・2年授業参観、海星中への通学に関する説明会、学級PTA
- 10 (木) 避難訓練、学校運営協議会
- 12 (土) 水産事業体験学習
- 15 (火) 性に関する指導 (2年)
- 22 (火) 性に関する指導 (3年)
- 24 (木) 2学期終業式